



皆さんは去年の事をどれくらい覚えていますか？
 2019年は平成から令和になった歴史的な年で
 残したことも記憶に新しいことでしょうか。では十
 年、二十年前は？自分が生まれてきたときは？そ
 こまでいくと覚えている方はほとんどいないので
 はないでしょうか？私たちは経験のないことや、
 覚えていない出来事を実感することが困難です。
 自分が生まれてきたとき、両親や祖父父母などたく
 さんの方が笑ってくれたことでしょうか。喜んでく
 れたことでしょうか。でも、それを自覚している
 という人は少ないはずですよ。

あるお檀家さんのご葬儀でお施主さまが、自分
 の誕生を故人さまが心から喜んでくれたのです、
 とおっしゃってくださいました。そのようなお話
 を聞くと記憶はなくても自分をご先祖さまだけで
 なく、さまざまの方とご縁の中で生きているの
 だと改めて実感します。皆さまはどのようなとき
 にご先祖さまや先立たれた方とのつながりを実感
 されるでしょうか？
 私たちは多くのご縁の中で生きています。その

縁をユッセイ
 北から南から

命のリレーに想いを寄せて

茨城県古河市
 本願寺 峯崎 就裕



命は過去から途切れることな
 く続く命のリレーの結晶と言
 えましょう。しかし、日々忙
 しく生活している中で亡く
 なった親しい方やご先祖さま
 に想いをはせ、私たちがさま
 ざまなつながりの中で生きていると実感で
 きる機会がどれほどあるでしょうか？法然
 上人のお言葉に、「衆生、仏を礼すれば、仏
 これを見たまう。衆生、仏をとらうれば、
 仏これを聞きたまう。衆生、仏を念ずれば、
 仏も衆生を念じたまう」とあります。私の
 お寺で勤める「おせがき」では、ご参列い
 ただいた檀家の皆さまとお塔婆にお念仏を
 おとなえさせていただいています。去年、
 ふと思ひ立ち、初めて私のご先祖さまのお
 塔婆を自分で建立しました。住職がお塔婆
 を読み上げ、参列した皆さんと共にお念仏
 をとなえると、お浄土のご先祖さまにたく
 さんのお念仏の声と共に私の想いも届いて
 いると、確かにそう感じました。お念仏を
 となえることで、私たちはお浄土で過ごす
 方々ともつながることができるのです。
 私たちは誰かの存在なしには生きること
 はできません。そのことを忘れず、命のご
 縁に感謝して生きてゆきたいものです。

高取郡高取町にある浄土宗 心願山 延慶院 光祐寺

心願山 延慶院 光祐寺

Top Page 光祐寺の歴史

HOME > アクセス



ホームページ開設

CHECK!

WEB法事のお申込は!



お盆の施餓鬼法要を配信します

浄土宗 Jodo Shu

> 浄土宗総本山 知恩院

みそなめ地蔵



御忌大会

華頂山から

活動のお便り

令和2年度・御忌大会が、4月18日より25日まで奉修されました。本年は9年ぶりの御影堂での御忌大会ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止、参拝者の健康と安全確保の為、規模を縮小して当山の内局・職員のみで勤めさせていただきました。平成の大修理を終え御影堂落慶し、最初の御忌大会は少し寂しいものとなりましたが、来年の御忌大会には、新しくなった御影堂へ、多くの方にご参拝いただきたいと思えます。例年のように僧俗一体のお念仏が響き渡るなか、盛大に御忌大会をお勤めさせていただくためにも、新型コロナウイルス感染症の早期終息を願ってやみません。



知恩院の内局・職員のみで法要は勤められました

浄土宗の基礎知識

年忌

ねんき

No. 17



ご命日より一周年目を一周忌、二周年目を三回忌、六周年目を七回忌とし、その後十三回忌、十七回忌、二十三回忌、二十七回忌、三十三回忌、三十七回忌として三と七の数で法要が営まれます。地域によっては二十五回忌(23回忌と27回忌をまとめ)を行うところもあります。また、三十七回忌の次は五十回忌がありますが、自分が知っている人について営める最後の機会ということで、ひとつの区切りと考える方が多いようです。この後は百回忌というように五十の倍数になります。

年忌は、亡き人の追善の法要です。それは香華、灯明、飯食等を供養し、阿弥陀如来を礼拝讃歎して読誦念仏し、仏様からいただいた慈光を亡き人にふり向けていただく、回向の法要です。大きな善根功德を積むことであり、亡き人も自分も共に、仏様の慈光の中に摂取された喜びを得ることができるのです。

令和2年4月13日、京都・総本山知恩院の“御影堂落慶”にあたり、元祖法然上人御影像をお遷しする『国宝御影堂落慶御遷座法要』を厳修されました。ご遷座に伴い、集会堂（法然上人御堂）にはもともお祀りされていた阿弥陀如来像・観音菩薩像・勢至菩薩像がご安置されました。

肅然と念仏に生きる

総本山知恩院門跡 伊藤唯眞



ただ今、宮殿が開かれ、新しい御影堂に元祖様がお遷りいただきました。御影堂も開きました。建物であったこの御影堂に元祖様の命脈が行き届いたのであります。生きた本堂となりました。こんな喜びがありませんか。

私たちは皆がこの喜びを持って、念仏のいのちを広く外に向かって伝えていくならば、元祖様が願われた万民の幸せを少しでも皆が感じ取れるようになるかと思えます。それこそが遷座、そして御影堂落慶の大いなる意義であるかと考えます。私どもは念仏を申して生きられた祖師の教えを受けて生かさせていただいております。

今、私たちの周りは平生さを欠いてまいりました。つまり、新型コロナウイルスの疫疾によりまして、世界が大きく波打っております。人々が、今、苦難に見舞われております。平生だった人々の生活が異常になり、異常になった時に私たちが気付いたのは、いかに平生が有難かったかということでありました。

新たに造られたこの御影堂から新しい息吹が生じ、それに触発されたように私どもが、その念仏の心で自らを覆い尽くすようになってくれたら、また平生を取り戻すことができるだろうと考えております。

異常の中で平生を早く取り戻そうということに深く思いを致し、自らを戒め肅然と己を守って、周りに影響がないようにしていきたいものです。

こうした心を念仏のうちに持って、平生を取り戻していこうとするその祈念が、祖師の恩徳に報い、また私たちをも生かすことになるのではないかと思います。

※令和2年4月13日、御影堂落慶における御門主のご垂示

ブツダと法然とその比較から見えるもの

第二回 時代背景



京大文政大学学長 平岡 謙

■繰り替えされる「いまだ」の若い奴は！

ブツダと法然の誕生について語る前に、両者の時代背景について考えておきましょう。というのも、人間は誕生した時点で、ある特定の時間と空間の制約の中に放り込まれており、時空を超えて存在することはできません。ということは、いつどこに生まれ育つか、人間の思想形成において大きな意味を持つこととなります。

私は今、五十歳を超えた年齢に達しました。ありがたいことに両親はまだ健在であり、二人の息子を授かりましたが、親の世代と私の世代、また私の世代と息子の世代を比較すると、時代背景は大きく異なるので、ものの考え方は随分違います。私が子供だった頃、親や祖父母の世代に人からは「今の若い連中は！」とよく言われました。しかしそう言われた我々の世代が、歳を重ねた今、次の世代を見て、「今時の若い連中は！」と愚痴ついています。なぜでしょうか？それは、「当たり前前の基準」が違うからです。

人間のエゴ(自我)に基づき、快適で便利な生活の基準は、止むことがありません。たとえば、テレビのリモコン。かつてチャンネルを変えるには、テレビの本体に近づき、テレビについているチャンネルをガチャガチャと回さなければなりません。今では、昭和を題材にしたテレビドラマでしかお目にかかれません。

ところが、しばらくするとリモコンが登場し、テレビ

に近づくことなく、寝そべったまませんべいを食べながら、チャンネルを変えることが可能になりました。その『変化』を経験した者にとって、リモコンの存在は『ありがたい』感じますが、リモコンが当たり前前の時代に生まれた者にとつて、それは『当然』あるいは『当たり前』であり、『ありがたい』感じることはありません。

このように、時代は刻一刻と便利さや快適さを求めて変化していくので、『当たり前前の基準』はどんどん上がっていく、一昔前までは『ありがたい』と感じていたことも、次世代の者にとっては『当然(当たり前)』と受け取られることになり、世代間での齟齬(そご)が果てしなく生じる仕組みになっています。だから、いつまでたっても『今の若い奴は！』という小言は止むことがないのです。話を戻しましょう。私の言いたかったのは、人間の思考はその人が生まれ育った環境に大きく左右されるということです。逆に言えば、どのような時代に生まれるどのような場所で育ったのかに注目することは、ある人物の思想形成を考える上で重要だということです。では、ブツダと法然が生まれ育った時代はどうだったのでしょうか？以下に詳しく見ていくことにしましょう。

■雲が晴れる時代に生まれたブツダ

研究成果によれば、紀元前二千年頃、コーカサス地方(黒海とカスピ海の間)に住んでいたアーリア人が民族移動を開始し、北西に移動した人々は現在のヨーロッパ人の先祖に、また南東に移動した人々は現在のイランやインド人の先祖になったと言われています。そしてインドの場合、もともと

インドに住んでいた原住民をアーリア人が制圧し、原住民との混血をへながら現在のインドが誕生したと考えられています。

紀元前一千五百年頃、インドの原住民を制圧したアーリア人は、バラモン教という宗教を打ち立てました。これは、生活と関係の深い自然(たとえば太陽や風や雨など)を神として崇拜する多神教の宗教であり、祭祀(さいし)という宗教儀礼を重視し、そこで神々に賛歌を捧げて神々を喜ばせ、その見返りとして現実的な生活上の幸福、たとえば豊作や長寿・健康を得ようとする宗教です。また、カースト制度として知られている身分制度もバラモン教の特徴です。バラモン(僧侶)・クシャトリア(王族)・ヴァイシャ(平民)・シュードラ(奴隷)の四階級を言いますが、インドではこれを『ヴァルナの制度』と呼びます。ヴァルナとはインドの古典語サンスクリットで『色』を意味しますが、アーリア人はもともとコーカサス地方に住んでいたので肌の色は白く、原住民は黒かったことに由来します。

さて原住民を制圧してしばらく、アーリア人がバラモン教を基盤に自分たちの勢力を誇示していましたが、千年くらいが経過した紀元前五百年頃になると、アーリア人の勢力や価値観にほころびが生じ、バラモン教の伝統に従わない人々が出現するようになっていきました。そのような土壌を生み出す要因として、アーリア人と原住民との混血が進んだこともあります。「今の若い奴は！」という当時のアーリア人の年長者の声が届いてきそうですね。またガンジス川流域に多数の小都市が発達し、それにもないバラモンに変わって

クシャトリアが伸長したことも変化の要因と考えられています。

ともかく、この時代アーリア人の伝統や価値観が崩れ、因習に縛られず自由に発想する気運が醸成されました。思想界でも自由思想家と呼ばれる人々が活躍しましたが、かれらを『沙門』すなわち『努め励む人（出家修行者）』とよび、仏典には六人の代表的な思想家（これを仏教側からの蔑称で『六師外道』）がいたことを伝えています。このような自由な気風を背景に、ブッダはインドに颯爽と登場したのです。

■暗雲立ちこめる時代に生まれた法然

では、法然の生まれた時代はどうだったのでしょうか？ブッダとはきわめて対照的に、法然は暗い影が日本全体を覆う時代に生を受けたのです。仏教には三時説という仏教独自の時代観があり、それを正法・像法・末法という区分で表現します。正法とは、教法（教え）があり、その教法を実践（修行）する人がおり、またその結果、覚り（証）を聞く人がいる時代です。この『教・行・証』が完備した時代を正法といえます。

像法は、教法があつてそれを実践する人はいるが、覚る人がいない時代です。最後の末法は、教法のみが実在し、それを実践する人も覚る人もいない時代を指します。正法は仏滅後五百年、像法はその後一千年（五百という説もあります）、そして末法はその後一万年続くと言われていますが、仏滅を紀元前五世紀とすれば、末法のはじまりは紀元後一十一世紀となる、日本では一千五十二年が末法の元年と考え

られていたようです。

これと軌を一にしたように、日本では飢饉や疫病といった問題、また『方丈記』が詳しく説いているように、台風・大雨・干ばつなどの天変地異、さらには僧兵に代表される寺社の腐敗・墮落や政変など社会のあらゆる局面で混乱が常態化していたので、人々はこれを末法と関連づけて考えるようになったのです。科学が発達した現代においても、ノストラダムスの大予言を信じていた人々がいたようですから、今から一千年近く前なら、末法思想がどれほどの現実味を持って民衆に受け取られたかは容易に想像がつかず。

つまり、法然は末法思想を背景に世の中が混乱に直面し、また政治の場面では、律令制の崩壊とともに、平安時代までの天皇や貴族に代わって、鎌倉時代からは武士が政治の表舞台に立つという、大きな時代のうねりの中で生を受けたということになります。

■變動・改革の時代

こうして両者の時代背景を比較してみると、ブッダはバラモン教の桎梏から解放されたれ、自由な空気が漂う右肩上がりの時代に生きたのに対し、法然は末法という世も末の希望なき右肩下がり時代の時代に誕



生したのであり、極めて対照的な時代背景を背負って二人は生まれてきたことがわかります。しかし、両者の生きた時代は、ともに變動・動乱の時代であり、時代の価値観が大きくシフトする時代であったという点で共通します。神の存在を絶対的な前提としたバラモン教がその勢力を低下させていく時代だったからこそ、ブッダは神の存在を認めず、冷徹なまでに自己の心の内面と向かいあうことで、苦の根源である無明を発見し、修行によつて執着を離れることが一切の苦から解放されるという、あくまで『人間存在』に立脚した仏教という宗教を確立したのです。一方、法然は絶望的な末法の時代であったからこそ、すべての人間が実践できる行は念仏しかないと思極め、他の行をすべてなげうち、念仏往生という新境地を開拓しました。

いずれも、その時代ならではの教えではありませんか？歴史に『もしも』はありませんが、もしもブッダがバラモン教全盛期の時代に生まれていたら、あるいは法然が天変地異もなく泰平な世の中に生まれていたら、ブッダが仏教の開祖となることもなく、法然が念仏往生の宗教を打ち立てることもなかったのではないでしょうか。善につけ悪しきにつけ、時代は動いていたのであり、その動きやうねりに促されるように、ブッダと法然はそれぞれ独自の思想を形成していったとも言えますし、逆から見れば、時代が二人を要請し生み出したともいえますね。

こんな時だからみんなまで踊ろう

オンライン盆踊り開催 大正大学



↑ 昨年度の盆踊りが画面に映し出され、その映像の周辺に、オンラインの参加者たちが自宅で踊る様子が映し出されるようになっている。(写真はイメージ)

自分たちにできることを模索・実践

大正大学（東京都豊島区）は、7月10日から11日にかけてオンライン会議サービス『ズーム』や動画共有サービス『ユーチューブ』を活用し、オンラインで鴨台盆踊りを開催する。

同大学の盆踊りは、昭和20年代に始まったもの。一時とされたが、東日本大震災が発生した平成23年に追悼供養を目的に再開。そのとき、参加した地域住民から好評の声が多く寄せられたことから、以降毎年開催されることになった。25年には同大学の『鴨台』を取り、『鴨台盆踊り』と改称し現在にいたる。学生による出店が並ぶなど、地域の祭りとして定着している。

本年は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、7月18日まで学内への入構が禁止され、集まってくる準備が難しいことなどから、中止も検討。しかし、全国で多くの盆踊りや祭りなどが自粛・中止となるなか「盆踊りを通じて、人々を元気にしたい」という学生や教員の熱意から、オンラインでの開催を決めた。

試験的にオンラインで盆踊りを行ったところ、実際に集まってしまうのは違い、自宅では踊りのタイムイングや熱意を共有しづらいとの問題があった。そこで、参加者からの返答をもらいやすいよう、主催者側がよびかけを頻繁に行うようにするなど、オンラインならではの苦労があったという。

当日は、ズームで最大300名が同時に参加でき、さらにユーチューブでズーム参加者の様子をライブ配信する。盆踊り以外にも『浴衣チャレンジ』と称した社会貢献プロジェクトを企画。これは参加者で浴衣を着ている人数と、SNSで鴨台盆踊りの投稿を共有した人数を集計、その数だけ実行委員の学生が地域の社会活動に参加するもので、地域貢献に力を注ぐ同大学ならではの取り組みといえる。実行委員長で3年生の柏原拓旺さんは「例年は大学や地域住民の方が中心ですが、今年は遠方の方も参加しやすいと思います。こんなときだからこそ、みんなであつながり、楽しんで、元気になってもらえれば」と話す。

先祖さまをお迎えしよう

精霊棚の飾り方

夏の暑い盛りに訪れるお盆。8月13日から15日（一部の地域では7月13日から15日）にかけて、全国的に広く行われてる仏教行事です。その期間中はご先祖さまが極楽浄土から戻ってこられるとされ、左図のような「精霊棚」を設けます。お仏壇の前に脚の低い机を用意し、その上に真菰でできたゴザ（または白い布）を敷き、机の四方（または奥2カ所）に竹を立て網を張り、境界とします。お仏壇からお位牌を取り出し、精霊棚の中央奥にお祀りします。その手前に御霊膳と果物や野菜などを供え、中央手前に香炉、その右にロウソク、左に生花を置きます。また、ご先祖さまが早く自宅へ来てくださるようにとの思いを込めてキユウリで作った馬を、極楽浄土へゆつくり帰られますように、との思いでナスで作った牛をお飾りします。そして無縁の諸霊への供養を意味する「水の子」と、仏さまに捧げる清らかな水を意味する「閻伽水」を蓮の葉に乗せて供えます。蓮の葉がない場合は、お皿で代用してもかまいません。



※紹介している飾り方は一例です。地域によって違いがありますので、詳しくは菩提寺へお尋ねください。

パッと散り、記憶のなかで咲く

★40年あまり続けてこられたのは、花火の世界に魅せられたからでしょうか？

小勝／やってみると面白いことがたくさんあったんです。花火大会で打ち上げをしていると、会場のお客さんの「ワーツ」という歓声が数百メートルも離れた打ち上げ現場まで聞こえてきます。お一人おひとりの顔は見えませんが、全体の声の様子から、喜んでくださっていることがはつきると伝わってくるんですね。

その大歓声がやりがいになって、もっとすごい玉を作ってやろう！と苦勞を重ねて完成させて、いざ打ち上げたらウケなかつたり、逆に予期せぬところで盛り上がったりますんです。そうかと思えば、同じことをしても、あっちの会場ではウケたけど、こっちではウケなかつたりということもあります。工夫を凝らした玉で大きな拍手が起ったときは「やったぞー」と心の中でガッツポーズですよ。どうすればお客さんが喜んでくれるのか常に模索しながら、変えていくのが花火なんです。だから完成形というものはありません。やればやるほど、面白いですね。

★花火師であり、経営者でもあるわけですが、社長として大切にされていることは？

小勝／入社当初は山梨の自社工場では花火作りに携わっていましたが、4年目のときに父が急逝して、東京の本社に戻って経営に携わることになりました。当時から一貫して心がけているのはやはり「安全」ですね。作る時も打ち上げるときも、火薬という危険物を扱っていることだけは決して忘れるなど、社員には繰り返し言っています。花火はたいがいの人にとつていい思い出として心に残ると思うんです。でももし、花火大会で事故を見てしまったら、嫌な思い出が残ってしまいます。工場での事故であっても、恐怖心がついてしまいます。安全対策はどれほどやっても完璧ということはありませんが、コストや手間をかけてでも安全が第一。誰にとつてもいい思い出



この人を訪ねて
ともいきインタビュー
小勝一弘さん

なつてほしいですから。

おがつ もとひろ
小勝一弘
昭和28年東京都生まれ。昭和53年株式会社丸玉屋小勝煙火店入社。平成2年より現職。代々伝えられた技をもって、江戸時代末期ごろより高貴用花火の製造を始め、元治元年(1864)島五郎の代に丸玉屋を号し、花火の製造・販売を開始。いち早く海外に日本花火の紹介をし、世界の花火競技会での受賞歴多数。

この人を訪ねて
ともいきインタビュー

★理想の花火はありますか？

小勝／この業界の先輩方はよく「パッと消える花火が、いい花火」とおっしゃっていました。ほんの数秒の間に色が変わってパッと消えるから花火はきれいなんだと。爆発させるための火薬、色を出すための火薬、音を出すための火薬、それぞれを組み合わせ時間をかけて、繊細な作業をして作り上げて、一瞬で消えてなくなってしまう。もったいないような気もしますが、だからこそ記憶に残るでしょうね。とはいえ、私の理想はきれいに色が変わるとか、きれいに消えるではないんです。その日その日にあった花火、つまり打ち上げる場所や、シチュエーションにあったものを作ることには重きを置いています。海沿いなのか、山沿いなのかといった打ち上げる場所の地形、風向き、お客さんの年齢層、あるいは都会でビルのおかげで明かりやネオンが見える場所なのか、はたまた地方の真っ暗な場所なのか、それらによって打ち上げるべき花火は異なります。だから理想は「その時その場所で、一番いい花火」ということになりましたね。

★職人を育てる立場として、若い人に伝えていくことはありますか？

小勝／「いい加減なことはやるな」といつも言っているのですが、その反面「いい加減」が必要な場面もあるんです。例えば打ち上げのタイミング。今はコンピュータで制御していますから、1秒の何文の1という精度でコントロールできます。でも、あまりにきちんとしてしまうと、お客さんがタイミングに慣れてしまふんです。予測できない頃合いの方が盛り上がりやすい。だから緻密にコントロールする場面と、1分間に5発程度打ち上げればいいのか、という自由な場面を織り交せるんですね。そのタイミングの「いい加減さ」が丸玉屋の特徴にもなっています。これは花火の玉も同じです。いかに変化をつけてお客さんの予想を裏切るか。その変化の妙が職人の腕の見せどころなのかもしれません。(中略)

一日も早く再び夜空に花火が咲く日を……

お盆の法要 施餓鬼会

8月14日(金) 午前10時より勤修

コロナ感染症が心配なため、自宅でのお盆のお勤めに代わる、お寺への参拝を希望の方が多数おられます。このため、お盆中日の8月14日に光祐寺本堂にてお盆の施餓鬼法要を勤修します。参拝も困難である方へは、ホームページでの動画をご覧いただけるよう準備中です。

事前に申し込まれた御回向を、8月15日には配信の予定です。ご希望の方はHPのフォームよりお早目にお申し込み下さい。(振替用紙は郵送期間が必要です)

当日のご参拝も受入れますが、密にならないよう制限する場合もございますので、ご容赦下さい。

新型コロナウイルスに対するお盆の棚経について

〇〇 “棚経のお問合せ”へのご返事を、封書宛名の下に記載しておりますので、ご確認ください。

〇〇 新型コロナウイルスの感染状況等により、ご希望が変わる場合は、7月末日までにご連絡をお願いします。

半数以上の方が、新型コロナウイルスが心配、なため棚経を希望しない、又は不要であるとのご返事がありました。この結果

- ① 棚経を希望する、とご返事された方 → 例年通りの日程でお参ります。(およその予定時間帯を明記しています)
- ② 自宅へは希望しない、がお寺への参拝を希望される方 → 8月14日午前10時～《お盆施餓鬼法要》を勤修します。事前のお申し込みが必要ですので、ホームページ又は同封の振替用紙にてお申し込み下さい。法要は短時間で勤める予定ですが、ご心配な方は参列されず焼香のみにてお参りされますよう、お願いします。体調の悪い方はご遠慮下さい
- ③ 県外より帰郷の困難な方、回向による飛沫感染が心配の方 → 上記の《お盆施餓鬼法要》をHPで配信予定です。8月15日には、動画を配信できるよう、準備を進めていますので、HP又は同封の振替用紙にてお申し込み下さい。

【初盆の施餓鬼】は、例年の通り8月15日夜8時より厳修しますが、大人数でのご参拝はご遠慮ください。

棚経の日程

宛名の下に棚経日(日付・時間帯)を明記してありますので、ご確認ください。

15日	14日	13日	12日	11日	10日	9日	8日	7日	6日	5日	4日	3日			
午後8時～新盆回向施餓鬼	午前10時～お盆せがき	馬場崎町	馬場崎町西	大正町・明治町・大正寺西	松ヶ枝町・栄町・本町・日ノ出町・京町	末広町・中町・元町・湊町 明治町(大正寺裏)	東雲町・朝日町・東本町・相生町	岬町・上道町・霊・花町・入船町	浜ノ町・蓮池町・米川町・芝町 弥生町・清水町・外江町・北郷	竹内町・美保町・高松町・新屋町	中野町・福定町・上道町・西郷	財ノ木町・上道町・西郷・渡町・外江町・西郷	富益町・夜見町・誠道町・幸神町・夕日ヶ丘	米子市	松江市・岸本町・溝口町

マスク着用での読経は困難ですので、ご容赦ください!! 日程変更等はHPにてご確認ください!